２０２５（令和７）年度　事業報告書

社会福祉法人山鳩会
ひなたの道　生活介護

１．理念・方針

（１）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、互いにメリットのある関わりを築いていく。

（２）基本方針

①障害特性に応じた支援（人・環境・設備）を提供する。

→聴覚過敏や集団が苦手な利用者等には、部屋を分ける、簡易個室を作る等工夫し環境調整を実施した。歩行スピードや体力、身体機能に応じて日課配置の調整を実施した。

②自己選択・自己実現（社会参加等）できる環境を提供する。

→給食の選択やグループ外出の選択、外出時の食事の選択、日課の選択等を実施した。

③多機能型の特性を活かし、Ｂ型と生活介護共に相互のプログラムの利用を促進する。

→毎週木曜日に実施する音楽活動にＢ型利用者も参加出来た。

④健康の維持、向上を図る。

→日課のウォーキングやＰＴ、各種検診、ワクチン接種を実施した。

⑤地域の方と円滑な関係を築く。

→施設祭の実施、地域自治会の清掃活動への参加、地域行事等に参加した。

（３）中期目標（令和７年度～令和９年度）

①安心・安全を優先とし、日課プログラムの確立をする。

→回収作業、ウォーキング、農作業、創作活動、ポスティング作業、スヌーズレン等を実施し定着してきた。

②活動の自己選択を促す又は本人に合ったプログラムの提供をする。

→利用者が自己選択をし、苦手な利用者には特性などを踏まえた上で本人に合った選択肢を提供した。

③職員体制の強化と研修の機会を設け、資質向上を目指し、利用者のニーズ等に応える。

→常勤職員１名、非常勤職員２名の増員を図り強化に努めた。全職員で利用者の特性を踏まえ、

実施していた支援の在り方等を普段より朝礼や夕礼で確認をした。

２．施設概要

（１）施設種別　　指定障害福祉サービス事業（生活介護）
（２）利用定員　　４０名（現利用者数３４名）
（３）開所年月　　平成２８年１０月
（４）施設規模　　敷地面積　　９８２．３８㎡
　　延床面積　　９９６．２４㎡
　　建物構造　　鉄筋コンクリート造地上３階建て
　　賃貸区分　　（土地）賃貸　（建物）所有

３．職員構成

（１）雇用契約あり

職　　種	配置人数
管理者	１名※兼任
サービス管理責任者	１名※兼務
生活支援員　（常勤職員）	８名
保育士　　（常勤職員）	０名
調理員　　（常勤職員）	０名
事務員　　（非常勤職員）	１名※兼務
生活支援員　（非常勤職員）	１２名
保育士　　（非常勤職員）	０名
調理員　　（非常勤職員）	０名
看護師　　（非常勤職員）	１名
理学療法士　（非常勤職員）	１名※兼務
作業療法士　（非常勤職員）	０名
合　　計	２４名

※管理者はＢ型事業所と兼任
※管理者はサービス管理責任者と兼務
※事務員（非常勤職員）は法人本部と兼務
※理学療法士（非常勤職員）はＢ型事業所と兼務

（２）嘱託

医師　　（４回／年）	１名
看護師　　（１回／月）	０名
理学療法士　（１回／月）	０名
合　　計	１名

４．利用者状況

（１）障害程度

	1	2	3	4	5	Ⓐ	合 計
愛の手帳	２名	２４名	５名	１名	０名	２名	３４名
身障手帳	１名	２名	１名	０名	０名	０名	４名
精神保健手帳	０名	０名	０名	０名	０名	０名	０名

※身障手帳・精神保健手帳と重複　Ⓐ＝埼玉県

（２）年齢構成　　（平均年齢…３７．８歳）

	19 歳以下	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	合　計
男	０名	９名	８名	７名	１名	１名	２６名
女	０名	２名	１名	１名	４名	０名	８名
合計	０名	１１名	９名	８名	５名	１名	３４名

最低年齢　　男…２１歳　女…２５歳　　最高年齢　男…６１歳　女…５４歳

平均年齢　　男…３６．２歳　女…４３．０歳

（３）担当福祉事務所

東村山市	東大和市	小金井市	小平市	国分寺市	杉並区	港区	荒川区	世田谷区	越谷市	戸田市	合計
２１名	２名	１名	２名	１名	１名	１名	２名	１名	１名	１名	３４名

（４）障害支援区分

区分	2	3	4	5	6	未定	合 計
人数	０名	１名	５名	１４名	１４名	０名	３４名

（５）利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
月末数	35	35	35	35	35	35	35	34	34	34	34	34	415
延べ日数（定員）	880	920	880	920	840	880	920	840	920	920	800	920	10640
延べ日数（現員）	770	805	770	805	735	770	805	714	782	782	680	782	9200
延べ人数	723	745	733	751	664	708	739	563	716	688	633	721	8384
出勤率（定員）	82.2%	81.0%	83.3%	81.6%	79.0%	80.5%	80.3%	67.0%	77.8%	74.8%	79.1%	78.4%	78.8%
出勤率（現員）	93.9%	92.5%	95.2%	93.3%	90.3%	91.9%	91.8%	78.9%	91.6%	88.0%	93.1%	92.2%	91.1%

５．日課

（１）月～金曜日

時間	内容
8:00～ 9:30	①　②便送迎
9:30～10:20	着替え等　朝礼　日課の確認　水分補給
10:20～11:45	創作・運動・生産活動

11:45～13:30	手洗い　昼食　歯磨き　休憩
13:30～15:00	創作・運動・生産活動　清掃
15:00～15:20	着替え　水分補給　終礼
15:30～17:00	①　②便送迎

（２）土曜日

時間	内容
8:00～ 9:50	①　②便送迎
9:50～10:20	着替え等　朝礼　日課の確認　水分補給
10:20～11:30	創作・運動・生産活動
11:30～12:50	手洗い　昼食　歯磨き　着替え　水分補給　終礼
12:50～14:30	①　②便送迎

６．重点目標

（１）健康・衛生

①嘱託医など専門家の指示に基づき、個々の状況に適したプログラムを提供する。

→毎月のＰＴ相談や看護師相談、Ｄｒ相談を実施し、プログラムを提供した。

②健康診断、体重測定など定期的に行い、利用者の健康状況を把握し、家庭等とデータ共有を図り、医療機関への情報提供など早期対応を図る。

→必要に応じ、通院同行を行い、医療機関、家庭やグループホームと連携を取った。

③健康についての情報を家庭などに提供していく。

→体重測定や各種検診を実施し、情報交換を行った。

④自分の歯でいつまでも食べられるよう、口腔衛生支援を行う。

→毎日昼食後のハブラシ介助を実施した。また、歯科健診を実施した。

⑤利用者、職員の健康状態の把握と衛生的な環境整備を行い、感染症対策の徹底を図る。

→日頃から清掃を実施し、手洗い、消毒、検温の実施を行い、衛生的な環境整備に努めた。

実施種目	実施場所	実施日
健康診断	ひなたの道（白十字病院）	６／１１
婦人科検診	白十字病院	１０／７
インフルエンザ予防接種	ひなたの道（白十字病院）	１１／２０
歯科健診	ひなたの道（折笠歯科）	２／５

（２）就労活動

①多機能型の特性を活かし、Ｂ型と共に受注、回収等の就労活動を行う。

種目	受注・納品先	作業内容	稼働日	参加者	収入
受注作業	プロメディア	ＤＭ分別作業	不定期	全員	１７，６００円
受注作業	ポスコム	ポスティング	月２回	全員	７８，１１９円
回収作業	三栄サービス	古紙等回収	週２～３回	全員	５４９，５７１円
自主製品	廻田町自治会	自主製品販売	１１月	全員	７，０００円
小計					６５２，２９０円

②６か月ごとに工賃を支給する。

支給月	金額（円）	人数	金額（円）
４月	３３４，８５４円	３５名	９，５６７円
１０月	３０１，０００円	３５名	８，６００円
合計	６３５，８５４円	３５名	１８，１６７円

→４月と１０月に上記工賃を支給した。

（３）創作活動

種　目	紙すき　ちぎり絵等

→毎月ひなたの道駐車場掲示板に張り出す作品を季節に合わせて作成した。
　廻田町介護予防大作戦の会場に展示を行った。

（４）余暇活動

①利用者に希望を聞き、グループ分けを行う。

種　目	音楽活動　カラオケ　創作活動　　農作業

※Ｂ型プログラムを活用することがある。
→Ｂ型事業所の利用者も参加し、利用者にニーズに合わせた曲を演奏や歌う等して充実を図った。

（５）美化活動

①利用者の転倒やケガにつながらないよう、日常的に整理整頓を行い、安全な事業所の環境を提供する。
→日常より整理整頓を行い、避難経路等に物を置かないように徹底した。
②敷地内外の清掃、除草等を積極的に行い、衛生的な環境を提供する。
→日常より清掃を行い感染予防、衛生的な環境整備に努めた。

（６）給食

①　利用者の健康状態に基づき、可能な限り個別の希望に応じた献立を提供する。
②　栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂質	カルシウム	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
計画	720Kcal	28ｇ	111.5ｇ	18ｇ	320ｍｇ	0.4ｍｇ	0.48ｍｇ	40ｍｇ
実績	695Kcal	27.6ｇ	104.9ｇ	19.1ｇ	114ｍｇ	0.4ｍｇ	0.68ｍｇ	48ｍｇ

（７）行事

	内　　容	場所	目的	参加人数
４月	春の遠足	東村山中央公園	保護者との親睦	２９名
５月	グループ外出	登山　日和田山	自己選択・社会参加	４名
６月	グループ外出	イオンモール武蔵村山①	自己選択・社会参加	４名
	グループ外出	マクドナルド東大和	自己選択・社会参加	４名

	グループ外出	コカ・コーラ多摩工場①	自己選択・社会参加	４名
７月	じゃがいも掘り	廻田町	社会参加	３３名
	グループ外出	コカ・コーラ多摩工場②	自己選択・社会参加	５名
	グループ外出	ベリーズショップ大樹	自己選択・社会参加	３名
９月	グループ外出	イオンモール武蔵村山②	自己選択・社会参加	３名
	グループ外出	イオンモール武蔵村山③	自己選択・社会参加	３名
	グループ外出	イオンモール武蔵村山④	自己選択・社会参加	３名
１０月	グループ外出	イオンモール武蔵村山⑤	自己選択・社会参加	３名
１１月	運動会	八坂小学校	身体を動かす	２１名
	グループ外出	みかん狩り	自己選択・社会参加	４名
１２月	グループ外出	トーベヤンソンあけぼの子どもの森公園	自己選択・社会参加	５名
	クリスマス会	ひなたの道３Ｆ食堂	季節を体験する	３３名
１月	グループ外出	いちご狩り①	自己選択・社会参加	３名
	グループ外出	いちご狩り②	自己選択・社会参加	３名
	グループ外出	いちご狩り③	自己選択・社会参加	３名
	グループ外出	いちご狩り④	自己選択・社会参加	３名
	成人を祝う会	東村山中央公民館	人生の節目のお祝い	９名
２月	グループ外出	イオンモール武蔵村山	自己選択・社会参加	４名
	グループ外出	いちご狩り⑤	自己選択・社会参加	３名

７．防災訓練

（１）災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき月１回の防災訓練を行い、年２回全館合同の防災訓練を実施する。

→毎月防災訓練を実施した。年２回の全館合同の防災訓練を実施した。

（２）大規模災害時の福祉避難場所として、市、関係機関等と協力し機能を果たせる準備を整える。

→ＢＣＰ計画等に基づき防災訓練を実施した。

８．地域との交流

（１）挨拶、清掃活動など積極的に行い、日常的な関係を充実させる。

（２）施設祭、ボランティアの受け入れ、地域イベントへの参加、近隣学校との交流など啓発活動を行う。

→近隣学校との交流はできていないが、施設祭りを実施した。地域の運動会や介護予防大作戦、清掃活動に参加した。

９．実習生の受け入れ

（１）特別支援学校より実習を受け入れ、体験の場とし、入所につなげていく。

対象	期間	人数
東久留米特別支援学校	１日～２日	７名
武蔵野東高等学校	２日	１名

（２）市や相談支援事業所より実習を受け入れ、体験の場とし、入所につなげていく。
→本年度は無し。
（３）大学、専門学校などより実習を受け入れ、福祉職員の養成の一端を担うとともに、人材確保の機会とする。

実習種目	期間	人数
社会福祉士	８月～３月	３名
保育士		０名
介護体験等		０名

１０．保護者会等との連携

（１）支援の充実を図るため、家族の方との情報交換を密に行う。
→毎日の連絡帳で情報交換や必要に応じて電話での情報交換を行った。
（２）事業所の活動への理解を深めるため、月１回の保護者会（保護者面談）を行う。
→計画通り実施した。
（３）情報誌を発行し、活動状況を発信する。
→毎月の発行を実施した。
（４）家族が参加できる行事を行い、交流の場とする。
→計画通りに実施することが出来た。

１１．職員研修

（１）知識、情報収集のため、外部研修、他法人施設の見学、交流などを行う。
（２）積極的に自己啓発し、支援に活かす。
（３）「働きやすさ」を検討する。

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
接遇・マナー研修	７月２日	東京都社会福祉協議会	Web 研修	小林真樹
高齢知的障害者への支援の在り方	７月１０日	東京都社会福祉協議会	Web 研修	小嶋啓介
社会福祉士実習指導者	７月１２日、１３日	埼玉県 社会福祉士会	さいたま共済会館	齋藤正昭
カスタマーハラスメント防止講習会	７月２４日	ソウェルクラブ	Web 研修	小林真樹
第１回新任職員の定着・育成入門研修	８月６日	東京都社会福祉協議会	Web 研修	齋藤正昭
メンタルヘルス講習会	８月７日、２１日	ソウェルクラブ	Web 研修	村上才美 齋藤正昭

ハラスメント防止 講習会	８月２６日	ソウェルクラブ	Web 研修	小嶋啓介
虐待防止・ 権利擁護研修	８月２８日	東京都社会福祉協議会	Web 研修	野嶋寛子 中島夏暉
強度行動障害 支援者養成研修	令和７年度	東京都 福祉保健財団	Web 研修 研修指定場所	牧野瞳 野村伸博
対人支援に関わる全ての人へ	９月８日	東京都障害者通所活動施設職員研修会	国立オリンピック記念青少年総合センター	中島夏暉
東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	７月１日 ～２７日 ９月１０日	東京都 福祉保健財団	Web 研修	阿部賢雄
福祉職員キャリアパス対応生涯研修	９月９日、 １０日	東京都社会福祉協議会	東京都社会福祉保健医療研修センター	中島夏暉
東京都サービス管理責任者基礎研修	９月２９日、 ３０日	東京都	国立オリンピック記念青少年総合センター	小林真樹
強度行動障害 支援者養成実践研修	１０月・１１月	東京都 福祉保健財団	Web 研修 ビジョンセンター 新宿マインズタワー	小嶋啓介
知的障害者の医療場面での意思決定支援	１０月２３日	東京都社会福祉協議会	飯田橋左官工業ビル	齋藤正昭
メンタルヘルス講習会	１１月１８日	ソウェルクラブ	Web 研修	村上才美
ハラスメント　研修	１１月５日 ～１２月２４日	東京都社会福祉協議会	Web 研修	齋藤正昭
自衛隊から学ぶ災害時の行動と備え	１２月９日	東京都社会福祉協議会	飯田橋セントラルプラザ	小嶋啓介
防災士資格取得講座	１２月２２日、 ２３日	特定非営利活動法人日本防災士機構	ビジョンセンター 東京虎ノ門	小嶋啓介
強度行動障害の状態にある方の支援について	１月１４日	東村山市社会福祉協議会	東村山市社会福祉協議会地域活動室	播磨英昭 中島夏暉
強度行動障害不適応行動への支援の在り方	１月２８日	東京都社会福祉協議会	Web 研修	二子石朱根
はじめて社会福祉を学ぶ福祉職員のためのスタートアップ研修	１月２２日 ～３月１２日	東京都社会福祉協議会	Web 研修	浅野正人
支援記録これだけは知っておきたい支援記録の不適切語・要注意語	２月２７日	東京都社会福祉協議会	Web 研修	村上才美
福祉職員キャリアパス対応生涯研修	３月４日、６日	東京都社会福祉協議会	Web 研修	浅野正人

障害者支援施設等における高齢・重度化、強度行動障害への対応を考える	３月６日	東京都社会福祉協議会	Web 研修	中島夏暉

１２.会議

種　　目	回　数
職員会議	１回／月
ひなたの道合同職員会議	１回／月
評価会議	２回／年
給食会議	１回／月
ケース会議	1ケース／月
研修報告会	研修後
個別支援計画会議	２回/年

１３．事業継続計画（ＢＣＰ）

（１）防災

計画に沿った形で法人全体での訓練の実施、研修の実施を行う。

また、定期的に会議を開催し、より実効性の高い防災対策を検討する。

→ＢＣＰ委員会の主導のもと防災訓練の実施を行った。ＢＣＰ委員会も予定通り会議を実施した。

→防災安否確認システム（オクレンジャー）の導入に向けて、説明会・模擬などを実施した。

（２）感染症

計画に基づき、連絡調整や対応手段を整理し、感染症発生時にも円滑に事業の継続または再開をするための体制づくりをする。

→感染症対策委員会の主導のもと感染症ＢＣＰの作成や感染予防対策等を実施した。

１４．苦情解決、個人情報保護、権利擁護、虐待防止、身体拘束の適正化、セクシャルハラスメント防止

（１）苦情解決

①利用者からの苦情解決実施要綱に基づき、苦情に対しては真摯に受け止め迅速且つ円滑な解決方法を見出せるよう努める。

②担当窓口及び第三者委員を提示し、苦情解決への仕組みを利用者・家族へ周知する。

→上記内容に当たる苦情はなかった。

（２）個人情報保護

個人情報保護規定に基づき、個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、データの管理を適切且つ安全に行う。

→個人情報は適切にデータ管理を行った。

（３）権利擁護・虐待防止・身体拘束の適正化

① 人権の擁護、虐待防止等に関する運営委員会、担当職員を配置し、必要な支援体制の整備を行う。

② 身体拘束の対策を検討する委員会を定期的に開催する。

③ 職員は、虐待防止の啓発・普及、身体拘束の適正化に関する研修を受講する。

→権利擁護・虐待防止は虐待防止委員会の主導のもと、事業所で職員への周知やアンケート実施を行い、権利擁護・虐待防止に努めた。虐待防止・権利擁護研修に参加した。

（４）セクシャルハラスメント防止

担当職員を配置し、セクシャルハラスメントの防止、対応にあたる。

→セクシャルハラスメントにあたる事例はなかった。職員へ防止周知を実施した。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	徳田　文雄	０４２－３９９－２２５０
担当者	齋藤　正昭	同上
第三者委員	端山　幸子	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	徳田　文雄	０４２－３９９－２２５０
担当者（男性）	阿部　賢雄	同上
担当者（女性）	二子石　朱根	同上

虐待防止・身体拘束の適正化

	氏名	連絡先
責任者	徳田　文雄	０４２－３９９－２２５０
担当者	齋藤　正昭	同上